

令和元年度大学コンソーシアムやまがた定期総会議事録

日 時	令和元年6月24日(月) 13:30~14:30		
場 所	ゆうキャンパス・ステーション及びテレビ会議		
出席者	羽陽学園短期大学	:	渡邊 洋一 学長
	鶴岡工業高等専門学校	:	高橋 幸司 校長→代理:渡部 誠二 副校長
	東北芸術工科大学	:	中山 ダイスケ 学長→代理:木原 正徳 副学長
	〃	:	野村 真司 幹事会副委員長/理事
	東北公益文科大学	:	吉村 昇 学長→代理:阿部 公一 学長補佐
	東北文教大学/東北文教大学 短期大学部	:	須賀 一好 学長
	〃	:	大桃 伸一 幹事会副委員長/副学長
	放送大学山形学習センター	:	佐藤 圓治 所長
	山形県立産業技術短期大学校	:	尾形 健明 校長
	山形県立農林大学校	:	今田 邦信 校長
	山形県立保健医療大学	:	前田 邦彦 学長
	〃	:	伊藤 文明 幹事会副委員長/理事・事務局長
	山形県立米沢栄養大学/山形 県立米沢女子短期大学	:	鈴木 道子 学長
	〃	:	嶋貫 修 幹事会副委員長/理事・事務局長
	山形大学	:	小山 清人 学長
	〃	:	安田 弘法 幹事会委員長/理事・副学長
	〃	:	井上 榮子 ダイバーシティ推進ネットワーク 会議議長/准教授
	山形県	:	三浦 隆 総務部長 →代理:菅原 和彦 学事文書課長
欠席者	山形工科短期大学校	:	小幡 知之 校長
	山形大学	:	栗山 恭直 企画会議委員長/教授
陪席者	山形大学	:	出口 毅 副学長
	〃	:	伊藤 雅彦 教育・学生支援部長
	〃	:	松田 敦子 教育・学生支援部学務課長
	山形県	:	橋本 祥子 総務部学事文書課主事

[協議事項]

1 平成30年度事業報告(案)について

事務局から、資料1に基づき【地域貢献・活性化事業】を始めとするほとんどの事業がほぼ当初の計画通りに実施されたこと、「プロスポーツを活用した地域活性化活動の開催」事業のうち、他のプロスポーツとの連携については引き続き課題とされたこと、及び【山形県補助事業への協力・実施】では、「高等教育機関等PRイベント」を山形県学事文書課の全面的な協力を得て実施したことが報告された。

このことについて、特に質疑応答等はなく平成30年度事業報告(案)は承認された。

2 平成30年度収支決算（案）について

3 監査報告について

事務局から資料2に基づき、一次補正、二次補正の内容の説明と、収入決算額10,056,285円から支出決算額の7,166,207円を差し引いた2,890,078円が、令和元年度への繰越額となる旨の報告があった。

続いて、鈴木監事から資料3に基づき、適正である旨の監査報告があった。

以上、平成30年度収支決算（案）及び監査報告について、特に質疑応答等はなく承認された。

4 令和元年度事業計画（案）について

事務局から資料4に基づき、事業計画書（案）については、第3期事業計画のもとに作成しており、原則として平成30年度事業を継続する形にしていること、及び今年度末に予定されるゆうキャンパス・ステーションの移転について、現時点で引っ越しを1月末に、2月1日開設と予定している旨の説明があった。

また、会長の質問及び事務局による回答は以下のとおり。

（質疑応答）

・遊学館のオープニングセレモニーは何かやるのか。

→事務局から山形県教育庁と打ち合わせを行っているがリニューアルオープンの日が明確に決定していないこともあり、今後詰めていくことになる。（事務局）

・駐車場は。

→県の立体駐車場は、遊学館利用者は2時間まで無料となるため、やまがた夜話や本会議などは無料で使用が可能となる。（事務局）

・W i - f i の環境について。

→ここに設置されているものを移設して使用できるように考えている。（事務局）

5 令和元年度収支予算（案）について

収支予算（案）の説明の前に、事務局から資料5に基づき、ゆうキャンパス・ステーションの移転費用及び令和元年度、令和2年度の負担金の考え方について以下の説明があった。

（資料5の説明要旨）

・移転に関する費用が当初の見込みより多く見込まれ、ゆうキャンパス・ステーション運営費負担金に830,000円の不足が生じること。

・不足額への対応について、3月5日の幹事会、4月25日の臨時幹事会、6月3日の幹事会で審議を重ねた結果、令和元年度の「機関負担金」と「ゆうキャンパス・ステーション運営費負担金」は平成30年度と同様の積算で負担する。また、今年度の不足額は山形大学から立替えてもらい、令和2年度から3年で返済する。さらに、令和2年度からの予算については、機関負担金（会費）に一本化して運営することとし、積算方法は、従前の負担割合を基準にして算定する。

続いて事務局から、資料6「令和元年度機関負担金」、資料7「令和元年度ゆうキャンパス・ステーション運営費負担金」の説明があり、資料8の令和元年度収支予算（案）について、以下の説明があった。

(資料8の説明要旨)

- ・「機関負担金収入」は、4,310,342円、「ゆうキャンパス・ステーション運営費負担金」は3,790,000円、「繰越金」は2,890,078円となり、「雑収入」を加えた収入予算額は10,990,450円となる。
- ・支出については、昨年度実施した「地域貢献・活性化事業」のほか、平成30年度の実績を考慮してほぼ同額としている。
- ・「新拠点移設事業」の960,420円は、資料5の2にあるとおり移転にかかる費用である。
- ・「ゆうキャンパス・ステーション移転費」は、山形むらきさわビルの原状回復工事にかかる経費である。
- ・支出経費を収入予算から差し引いた額を予備費393,869円に計上し、支出予算合計を10,990,450円とした。

このことに関して以下のとおり質疑応答があった。

(質疑応答の内容)

- ・資料8の「山形駅前大通り商店街振興組合年会費」は、来年からはなくなるのか。
→なくなります。(事務局)

以上の結果、令和元年度事業計画(案)及び令和元年度収支予算(案)は承認された。

6 令和2年度機関負担金(会費)(案)について

事務局から資料9に基づき、令和2年度機関負担金(会費)は、山形大学立替え分の返還額28万円と新拠点運営費36万円を合わせた64万円を従前の機関負担金に増額する必要があるため、機関割増額欄を追加して示したこと、また、山形大学への返還方法は、機関負担金から相殺する形で行うこと、及び令和2年度機関負担金(案)は、県機関の次年度の予算要求に間に合うように今回の総会に諮って了承を得ておく必要がある旨の提案した旨の説明があった。

このことについて、以下の質疑応答があった。

(質疑応答の内容)

- ・資料9の表で、収容定員の人数について、現在、入学定員を変更しているところで人数が減るので修正願いたい。(須賀委員)
→修正します。資料9はこのような積算になるという目安であり、実際の人数がわかった時点で変わるものと考えていただきたい。なお、若干の定員減であれば(予算的に)対応できると考えている。(事務局)

このことについて、会長から数字に若干の変更はあると思うが、この方向で考えていきたい旨の補足説明があり、令和2年度機関負担金(会費)(案)は承認された。

[その他]

会長から、参考2の「男女共同参画セミナー」について、山形大学小白川キャンパスで開催されるので各機関から参加願いたい旨の案内があった。

以上の議事終了後、大学等進学率及び県内への進学率向上に向けた意見交換、及び各機関の

現状と課題等の情報交換が行われ会議を終了した。

以上

【配布資料】

- 番号なし 総会委員及び役員名簿
- 資料1 平成30年度事業報告書(案)
- 資料2 平成30年度収支決算書(案)
- 資料3 監査報告(5月22日:監事監査)
- 資料4 令和元年度事業計画書(案)
- 資料5 ゆうキャンパス・ステーションの移転費用及び令和元年度、令和2年度の負担金について(案)
- 資料6 令和元年度機関負担金(会費)(案)
- 資料7 令和元年度ゆうキャンパス・ステーション運営費負担金(案)
- 資料8 令和元年度収支予算書(案)
- 資料9 令和2年度機関負担金(会費)(案)
- 参考1 機関負担金(会費)及びゆうキャンパス・ステーション運営費負担金(令和元年度～令和4年度)(案)
- 参考2 男女共同参画セミナー(7月5日開催)
- 席上配布 留学生受入拡大推進事業費(県総務部学事文書課)

議事録署名人

会長/山形大学長

